

## 結核研究奨励賞受賞者名簿

会誌掲載年	氏名	所属	業績
11	安田 順一	千葉大医肺癌研究施設	肺結核後遺症における肺循環動態と胸部X線所見の検討
12-1	伊藤 邦彦	結核予防会結核研究所	病院検査室における結核菌培養の Cross-contamination
12-2	高鳥毛敏雄	大阪大学大学院医学研究科社会環境医学講座	大阪市の結核罹患率の低下速度の鈍化要因に関する分析
13-1	アミン・ルフル	大阪大学大学院医学研究科	Self Ligation Mediated Polymerase Chain Reaction の開発とその有用性
13-2	豊田 誠	高知市保健所	高知市中学校における結核集団感染
14-1	小橋 吉博	川崎医科大附属川崎病院	ガイドラインに沿った肺 Mycobacterium avium complex 症の治療成績
14-2	鈴木 弘文	千葉大保健管理センター	病理剖検輯報の記載から見た腸結核の動向と問題点
15-1	露口 一成	国立病院機構近畿中央胸部疾患センター	Mycobacteria Growth Indicator Tube (MGIT) 法による臨床検体からの抗酸菌培養成績の検討
15-2	吉山 崇	結核予防会結核研究所	胸部X線検診受診のある者となない者が結核と診断された際の重症度の比較
16-1	桑原 克弘	国立病院機構西新潟中央病院	肺 Mycobacterium avium 症の家族内発症例に対する IS1245 をプローブとした分子疫学的検討
16-2	宍戸雄一郎	国立東京病院呼吸器科（現：東北大学医学部感染症呼吸器病態学分野）	抗結核薬による無顆粒球症の検討- 4 症例の提示と文献的考察
17	三村 公洋	川崎医科大学呼吸器内科	岡山県で分離された Mycobacterium kansasii 株ゲノムのパルスフィールドゲル電気泳動 (PFGE) による解析
18	齋藤 朗	国立病院機構東京病院（現：東京大学大学院医学系研究科）	肝硬変に合併した結核症例の検討
18	森山 誠	名城大学大学院薬学研究科	臨床由来 Mycobacterium avium における Variable Numbers of Tandem Repeats 型別解析法の有用性の検討
18	吉田志緒美	国立病院機構近畿中央胸部疾患センター	リファンピシン耐性 Mycobacterium kansasii における rpoB 変異の解明
19	滝 久司	国立病院機構東名古屋病院	肺 Mycobacterium avium complex 症の治療に用いる rifampicin と clarithromycin が示す薬物相互作用の検討

19	築島 恵理	札幌市保健所	札幌市における結核菌 RFLP 解析によるクラスター形成と感染危険度の関連
19	松井 芳憲	国立病院機構東京病院	リファンピシンを含む結核治療におけるシクロスポリン投与量の検討
20	金子 有吾	東京慈恵会医科大学	慢性肝炎合併結核患者の結核化学療法による肝障害の検討
20	長野 誠	株式会社ビー・エム・エル	16SrRNA 遺伝子および ITS-1 領域をターゲットとした Invader 法による 23 菌種の抗酸菌の同定 —臨床分離株を用いた DDH 法との比較検討—

会誌掲載年	氏名	所属	業績
20	長嶺 路子	新宿区保健所	新宿区内の全結核患者に対する IS6110 RFLP 分析の実施と評価
21	森本 耕三	結核予防会複十字病院	肺 MAC 症の病型, 男女別の臨床的検討
21	山本 輝人	三島共立病院	市中病院の剖検で見られた活動性肺結核例の臨床病理学的検討
21	Leizel P. LAGRADA	東京医科歯科大学	Analysis of Factors of Treatment Completion in DOTS Health Facilities in Metro Manila Philippines: A Case-Control Study
22	稲垣 孝行	国立病院機構東名古屋病院	Line Probe Assay による Rifampicin 耐性遺伝子検査の有用性 —患者喀痰を供試しての検討—
23	鈴木 祐子	豊島区池袋保健所長崎健康相談所	高齢者施設における平常時の結核対策に関する研究
23	山本 吉章	国立病院機構静岡てんかん・精神医療センター	抗結核薬の副作用発生と危険因子に関する後ろ向きコホート研究
24	古橋 一樹	静岡県立総合病院	INFLAMMATORY MARKERS IN ACTIVE PULMONARY TUBERCULOSIS : ASSOCIATION WITH Th1/Th2 AND Tc1/Tc2 BALANCE
24	黒河 和宏	国立病院機構東名古屋病院	Mycobacterium avium の新規 Variable Number Tandem Repeat 領域の有用性の検討
24	小向 潤	大阪市保健所	6~17 歳の個別接触者健診におけるクオンティフェロン RTB-2G とツベルクリン反応の有用性に関する研究
25	斉藤 礼子	新宿区落合保健センター	ホームレス “青空 DOTS” の意義—治療困難事例への路上における DOTS の経験
25	和田 崇之	長崎大学熱帯医学研究所	複数自治体をまたぐ広域的結核分子疫学の基盤構築 —JATA(12)-VNTR 型別に基づくクラスター形成とその傾向—

26	瀬戸 順次	山形県衛生研究所	接触者健康診断における高齢者に対するインターフェロン- $\gamma$ 遊離試験の有用性の検討
26	森野英理子	国立国際医療研究センター	塗抹持続陽性肺結核患者の培養陰性化の判定時期に関する検討 ～培養陰性による退院基準の見直しに関する提言～
27	笠井 幸	大阪市保健所	潜在性結核感染症の治療成績と DOTS に関する検討
28	岩本 信一	国立病院機構松江医療センター	高齢者での外来性再燃が確定できた老人福祉施設における結核集団感染事例の検討
28	森山 誠	国立病院機構豊橋医療センター	Association between a pMAH135 plasmid and the progression of pulmonary disease caused by Mycobacterium avium
29	津田 侑子	大阪市保健所	大阪市における多剤耐性肺結核患者の背景および治療成績と服薬支援
29	泉 清彦	結核予防会	結核接触者検診における社会ネットワーク分析の活用
29	山中友美絵	東京慈恵会医科大学第三病院	イソニアジド単独耐性肺結核症の臨床的特徴と培養陰性化日数の検討
30	芦達麻衣子	大阪市保健所	大阪市における肺結核患者に対する家族 DOTS に関する検討
30	渡邊かおる	国立病院機構東京病院	HIV 感染症合併結核患者における抗レトロウイルス療法開始時期と予後の検討

31	井上 恵理	国立病院機構東京病院	INVESTIGATION OF POTENTIAL PROGNOSTIC FACTORS FOR THE INCREASINGLY PREVALENT MILIARY TUBERCULOSIS IN JAPAN
31	八木 光昭	国立病院機構東名古屋病院	肺 Mycobacterium avium complex 症に対するシフトキサン使用例の検討

令和 2	池田 優美		治療中断リスクスコア別の DOTS の有効性の評価
2	植田 英也		インターフェロン $\gamma$ 遊離試験を用いた解剖時の結核感染リスクの検討
3	北岡 有香		当院における外国生まれ結核自験 23 名の臨床的検討
3	林 大樹		当院で経験した不法滞在外国人の結核症例に関する臨床的検討

4	稲葉 龍之介		孤立結節型肺 Mycobacterium avium complex 症に対する術後化学療法 の必要性
4	藤島 宣大		大分県における COVID-19 拡大が与えた新規肺結核患者への影響
5	小佐井 惟吹		Lung Flute による抗酸菌症疑い患者への喀痰誘発法の検討